

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年5月13日更新

事務事業名		疾病分類抽出事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	2 福祉の健康 5 健康づくりの推進 22 保険医療制度の健全な運営	所属部 所属課 所属班	健康福祉部 健康ほけん課 保険年金班	課長名 担当者名 (内線)	末永 大樹 毛利 一生 1186		
予算科目	会計 国保	款 6 項 1 目 1 事業連番 10384 根拠 法令	国民健康保険法					
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(開始年度 (~ 18 年度) 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・疾病を分類(国保連合会委託)し市民の疾病傾向を把握し、長期的な医療費削減対策や補助金申請に使用する。 ・昭和33年に調整交付金制度が発足し国民健康保険法に設けられた制度。 ・平成20年度より後期高齢者医療制度が発足したため、75歳以上が対象から外れた。
【業務の流れ】	①診療月ごとの疾病分類、②結核・精神の病類を抽出し診療月ごとのリストを作成、③リスト1件ごとに対象レセプトを確認、④対象となるものだけを特別調整交付金として申請
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健衛生普及費 13業務委託
【意見や要望】	結果として交付金として市に国、県から交付があるので当然これからも必要である。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動) (DO) 国保連合会に対象疾病データ作成を委託した。	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 診療報酬明細書数 イ	(単位) 枚 予算の主な増減の理由
②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 疾病分類業務等委託料 イ	(単位) 千円 ②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 疾病分類業務等委託料 イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 特別調整交付金の額を適正に算定する。	(単位) 千円 ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア 結核・精神病にかかる特別調整交付金の金額 イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 国の特別調整交付金の額が成果となるため。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア 枚 イ	205,538	135,510	213,000	197,413	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
② 対象指標	ア 千円 イ	1,357	1,342	2,400	1,331	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
③ 成果指標	ア 千円 イ	79,909	73,295	70,000	71,053	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円									
投 入 量	(A) 事業費計	千円	2,237	2,214	2,400	2,200	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	3 320	2 310	2 200	3 300	2 200	2 200	2 200	2 200	2 200
	(B)人件費計	千円	1,251	1,179	796	1,092	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,488	3,393	3,196	3,292	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400

事務事業名	疾病分類抽出事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康ほけん課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】 前年度並みのため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】 現状維持が大事。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 嘱託職員をフルに活用している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】 公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】 行政が行う範囲であるため、移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

この事業の実施により適正な特別調整交付金の算定ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

- ### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善
事業のやり方改善（効率性改善 事業のやり方改善（公平性改善
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

- (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策